

On y va! (オニバ)

お久しぶりです

約4か月ぶりのとなります。ベナンではハルマッタンという西アフリカ特有の貿易風の影響で砂ぼこりがすごいです。約4か月間、図工と体育の授業を行い、ベナンの子どもたちと共にものを作り、体を動かしていました。いまは図工の作品展、運動会の開催を目指して活動をしています。



両親がベナンに来てくれました

JICA 関連のプログラムを利用して、両親がベナンに来てくれました。ベナン観光、保健隊員の活動見学、現地食体験、任地の散策、私の活動見学等をしてくださいました。両親が来たことで、改めてベナンで活動させてもらっていることに感謝し、健康第一で活動することの大切さを感じました。

ベナンでの行事

ベナンはキリスト教も盛んであり、クリスマスは祝日でサンタさんが町で子どもたちとパレードをしていました。大みそかは大きな街では花火などで祝ったそうです。だが、ベナンは1月1日のみが祝日です。1月中旬にはブドゥ教のお祭りがありました。ベナンでも最高の盛り上がりでした。



↑ベナンの布で仕立てた服

ベナンの交通事情

ベナンでは基本的に移動は車になります。コトヌーから4時間までの距離は乗り合いタクシー、それ以上の距離は大型バスでの移動になります。町の移動はバイクが基本で、バイクタクシーも多いです。ヘルメット着用ですが免許は要らず、12歳の子どものも運転しているので危険です。乗り合いタクシーの2列シートは7人、3列シートは10人が基本です。非常にきついです。



車内の様子←



ベナン流ガソスタ←

車はホンダやトヨタなどの日本車も数多く、ありますがほとんどがボロボロです。整備も自分たちで行います。日本で車検が通りそうな車は1割ほどだと思います。

他にも首都を中心に走るトゥクトゥクや基本的に荷物の運搬に使う三輪車などがあります。

ガソリンは道端で瓶の中に入れて売っており車に直接入れます。日本のようなガソリンスタンドもあるのですが、あまり普及されていません。

発展とリスク

ベナンの道路は幹線道路や主要都市は舗装されています。任地の町はまだまだ舗装されていませんが着々と工事が行われています。しかし、それと共に交通事故も増えているようです。道が舗装され、スピードを出せるようになり、交通事故が起きるということです。ベナンには信号もなければ車線もありません。そして、警察による取り

締まりも主要都市以外ほとんど見受けられません。その為、道を整備すると事故も増えるのです。つまり、道の整備と共に事故のないような工夫や交通ルールを遵守させることが必要ということです。

道以外でも言える事です。便利なものを与えるだけでなく、その後の状況まで想定して支援すべきです。与えるだけでなく、なぜ必要か、その後どうなるかを考えることが大切です。